

一人一人の資質・能力の向上と 他者とのよりよい関わりを目指して

太子町立磯長小学校

活動を通して学ぶ

令和5年度磯長小学校では、活動を通して児童に気付きを与え、そのうえで学ばせていくことを大事にしています。

まず、異学年交流では、本年度から縦割り班を用いて全学年と交流ができるようにしました。そこから、自分より年下の学年に対してどのような関わるのか。また集団で行動するためには、どのように行動しないといけないかなどを実体験を通して学べるようにしています。

次に、これまで行われてきた行事については、太子町で設定されている非認知能力を意識することで、学びを深めるように工夫しています。具体的には、目標の設定、中間の振り返り、最後の振り返りを行う事で、ただ行事を行うだけでなく、そこから子どもたちが自身で学びを深めることができるようにしています。

最後に授業については、主体的な学びを実現するために、主に国語を通して言語活動を設定し、そこから学びを深めることができるようにしています。

子どもたちが主役となつて、豊かな心を持つ、元気な子どもの育成をめざしています。



行事を通じた非認知能力の育成

運動会を通じた取り組み



磯長小学校では、10月15日（日）に運動会が開催されました。それまでの3週間で、学年で一致団結し団体演技や団体競技の練習に励んできました。太子町で7つの非認知能力が設定されていますが、本校では「あきらめない力」「粘り強い力」の育成を掲げてきました。子どもたちは、おうちの人や今までお世話になった人たちに自分たちの成長した姿を見せたいと感じ、日々練習に取り組みました。

また、係活動を中心に他学年交流も盛んに取り入れました。運動会前日のリハーサルでは、異学年の演技を見る機会を設定しました。子どもたちは初めて見る他学年の演技に大きな拍手をしていました。本番では手拍子をしたり一緒に踊ったりする姿が印象的でした。

当日は応援団がプログラムの初めから最後まで応援する姿が見られ、活気にあふれた運動会になりました。また、5、6年生は運動会を成功させるためにそれぞれ係り活動を精一杯頑張りました。大勢の人に喜んでもらうことができる運動会になりました。

二上遠足を通じた取り組み

11月2日（木）に縦割り班で二上遠足に行ってきました。本年度から6年生をリーダーとして全学年で班を編成しました。もちろん6年生のリーダーシップの育成も目指しています。ただ、6年生だけが頑張るのではなく、それぞれの学年で兄弟学年（1、6年、3、4年、2、5年）の関わりを主として、どのように関わるのかを考えるように促しました。当日は、どの児童もそれぞれの役割を考えて行動し、大きなトラブルもなく、楽しく終えることができました。



国語授業づくりの取り組み

試行錯誤を意識した取り組み



5年生で、「注文の多い料理店」の学習が行われました。子どもたちの学習意欲をかきたてるために、この教材を用いて、「注文の多い料理店のおもしろさを考えて伝えよう」という活動をおこないました。



活動を行うために、文章の読み取りをおこないました。おもしろさを、「①しんしについて」「②物語のしかけ」「③おもしろい表現」「④この作品が伝えようとしていること」に分類し、そのおもしろさを感じながら読み取りの授業を行いました。



読み取ったことを基にして、子どもたちそれぞれが感じる注文の多い料理店のおもしろさをまとめる時間を設けました。そこでは、伝える相手となる4年生に本当にそのおもしろさが伝わるようになっていくかを確認することなど試行錯誤してまとめていくことができるようにしました。



単元の最後には、実際に4年生にそのおもしろさを伝える活動を行いました。5年生の発表を中心にしながら、中間指導で4年生がどのように聞いているかを共有することで、より相手におもしろさが伝わるようにしました。

支援学級

交流学習を楽しんでもらうために



2学期 3年生と交流学習

2学期は10月に3年生と交流学習をしました。事前に3年生との交流方法を自分たちで考えました。「作る、遊ぶ、運動する」というテーマを元に、3年生に楽しんでもらうために各コーナーで使うものやゲームのルール、必要な役割を話し合いました。1学期の経験があったので、よりよい準備ができました。



自分たちで考えて

高学年が中心となって、準備を進めました。足りない物は自分たちで作りました。当日はルール説明をして、役割分担をした仕事をそれぞれ頑張っていました。

3年生の子どもたちもとても楽しんでくれ、最後にお礼の言葉をもらったときは、子どもたちはとても嬉しそうでした。楽しんでもらうために頑張った良かったと実感した様子でした。

体力向上の取組



体育委員会主催 ボール投げ

春に実施したスポーツテストで、「投げる」という項目を苦手に行っている事が分かりました。これを受け、9月に体育委員会が昼休みに学級毎に「大玉投げ転がし」をおこないました。大小のバランスボールに、玉入れの玉を30秒間で何回も投げて当てるゲームです。高学年では大玉を転がすことができました。



体育委員会主催 ドッジボール大会

10月下旬から学級対抗でドッジボール大会をしています。今年は低・中・高学年に分かれてリーグ戦形式で行っています。どの学級も3試合以上することができます。異学年でするときは、年上の学年も負けるわけにはいかないのが真剣です。ルールの中でうまく当てる工夫をどんどん出し合い、工夫を楽しめるようになって欲しいです。